学校番号	2003

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	2	第３学年	数研出版「BIG DIPPER」 数研出版「長文読解徹底リハーサル 第 3,4,5,6 問」 啓隆社「Reading Essentials 」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅢの授業では、長文を読むことを中心として構成されています。教科書に掲載されている、400 語～900 語までの長文を時間内に読解し、内容を理解することを目的としています。まずは、長文を集中して読みきる力をつけましょう。

・読解の際に必要な語彙や文法事項なども、必要に応じて提示し、新出語句に関しては発音、アクセントに注意しながらリピートする活動も行っています。発話に積極的に取り組み、英語の音に慣れていきましょう。

・話す活動の一環として、読んだことに関して即興で自分の意見や考えを述べることにも取り組みます。ただ読むのではなく、批判的に読解することも大切です。

・二学期以降はセンター試験対策の演習を行っていきます。制限時間内にすばやく読解し、必要な情報を得られるような効率のよい読み方を身につけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（２単位）、「コミュニケーション英語Ⅲ」（３単位）及び「英語表現Ⅱ」（３単位）

主な教材：BIG DIPPER English CommunicationⅢ. 長文徹底リハーサル・Reading Essentials

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・読んだもの、社会性のあることについて、1 分間で 50 語程度話すことができる。	ディベート リテリング 1 分間スピーチ	・読んだことに対して、自分の意見や考えを、正確な英語で書くことができる。 ・要点をまとめ、簡潔な英語で読んだものをまとめることができる。	ライティング課題 定期考査	・比較的長い対話や、講義を聞き、要点をとらえ、内容を理解することができる。	定期考査	・物語文や随筆を読んで、情報を整理しながら要点をまとめ、正確に読むことができる。 ・科学的な内容の文章を、情報を整理しながら、且つ批判的に読むことができる。	定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	英語を積極的に運用し、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストにある「話すこと」と「書くこと」の到達目標を客観的に迅速に、且つ的確に評価できる方法。	CAN-DO リストにある「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を客観的に、且つ的確に評価できる方法で実施。	英語を運用するために、必要な文法知識や、コミュニケーションを円滑に進めるために、必要な文化を理解しているかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (4 時間)	The History of Ekiben 日本独自の食文化である駅弁の歴史と、駅弁が発展した経緯についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアで読んだことに対して、自分の意見を述べる。	・パートごとに内容を理解するために、理解したことをペアで伝え合う。	・ペアで読んだことに対して、自分の意見を述べている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだものに対して、自分の意見をまとめて話す。	・読んだものに対して、キーワードを意識しながら、正確な英語で書く。	・読んだものに対して、キーワードを意識しながら、正確な英語で書くことができる。	・提出されたライティング課題を添削して評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・読んだものに対して、様々な質問に答える。	・読んだものに対して、英問英答に取り組んだり、True or False の問題に答える。	・読んだものに対して、英問英答に取り組んだり、True or False の問題に答えることができる。	・授業時間内に、質問に対する、生徒の正答率を記録させ、提出させる。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・言い換え表現の使い方を理解する。	・本文中で使われている言い換え表現の使い方を理解する。	(本単元では設定しない)	・定期考査において、言い換え表現の基本的な使い方が身についているかを確認する。
Lesson 2 (4 時間)	Three Tips For Maintaining a Conversation 会話を続ける３つのコツについての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・人種差別に関して、知っていることをペアで話す。	・人種差別、輸血というキーワードから、ペアで得られた情報をグループで伝え合う。	・ペア、グループで協力しながら、情報を整理できている。	・ペア、グループでの活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだものに対して、自分の意見をペアで伝え合う。	・読んだものに対して、自分の意見をまとめ、簡潔にペアに伝える。	・読んだものに対して、自分の意見をまとめ、簡潔にペアに伝えることができる。	・ペア、グループでの活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・パラグラフごとに内容を理解する。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・追加・列挙の表現の働き、または用法を理解する。	・本文中で用いられている追加・列挙の表現を意識しながら、読む。	・追加・列挙の表現の用法について理解している。	・定期テストにおいて、知識が身についているかどうかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (4時間)	スウェーデンの科学者ノーベルがノーベル賞をつくった背景にある、ダイナマイト発明者としての苦悩、また職業倫理や社会の発展に寄与する方法に関する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・近年の言葉の使い方について、ペアで感じることを話す。	・各セクションを読む前に、ノーベル賞とは何か、について知っていることを話す。	・ノーベル賞について知っている情報を話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだものに対して、自分の意見を簡潔に書く。	・パートごとに意味を把握し、要約する。	・読んだもの対して、簡潔にまとめ、伝えることができる。	・ライティングを提出させ、添削をした上で評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・現代の言葉使いが、表現の仕方を狭めてはいないか、という筆者の考えを理解する。	・パートごとに内容をまとめ、ワークシートに英語で書く。	・ノーベル賞に関しての文章を読み、理解することができる。	・英問英答などを通して、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・譲歩の表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・譲歩の表現を、読解を通して理解することができる。	・定期テストにおいて、知識が身についているかどうかを判断する。
Lesson 11 (4時間)	プレッシャーに負けずに実力を発揮する方法と、それらをスポーツや試験などで実際に使用することについての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)
		「外国語表現の能力」			
		・アスリートが行っている方法に関する文章を読み、日本との違いをペアで話す。	・アスリートが行っている方法を話し合い、その上で、相違点を話し合い、発表する。	・アスリートが行っている方法を明確に、且つ的確に話すことができる。	・授業内で、観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・アスリートが行っている方法に関する内容をパートごとに把握する。	・パートごとに、アスリートが行っている方系の特徴を理解し、内容を把握する。	・パートごとに、アスリートが行っている方法を理解し、内容を把握することができる。	・定期テストにおいて、英問英答などの質問に正確に解答できているかどうかによって、判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・各パラグラフの役割を理解する。	・本文中で用いられていている用法や、意味を確認する。	・各パラグラフの役割を理解できている。	・定期考査において、実際の言語使用場面を想定した問を作成し、評価する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 17 (4時間)	アフリカの貧困・教育問題に目を向け、アイデア次第で問題を解決することができるということについての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・アフリカの貧困・教育問題に関して、どのような印象を持っているかをペアで話し合う。	・パートごとに、内容を把握し、理解したことをペアで話し合う。	・ペアワークにおいて互いに協力し、会話を続けられる。	・授業内で観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・科学的な文章を読んで、その内容について口頭で要約する。	・各パートの内容を口頭で要約する。 ・ペアでアフリカの貧困・教育問題について知っていることを話し合う。	・科学的な文章を読んで、その内容を口頭で要約できる。 ・読んだことに対して、批判的な意見を表現できる。	・授業時間内に、発表時間を設けて、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・各パートの概要を把握する。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・アフリカの貧困・教育問題を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正確に該当文法事項を理解できている。	・定期考査において、実際の言語使用場面を想定した問を作成し、評価する。
Lesson 18 (4時間)	近年増えている訪日外国人環境客に目を向け、異文化理解につなげる。また、英語のプレゼンテーションの基本を学び、グラフ・図表から正しい情報を読み取れるようにすることについての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けることができる。	・パートごとに内容に対する感想や、批判的な意見を伝え合う。	・ペアワークにおいて互いに協力し、会話を続けられる。	・授業内で観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・プレゼンテーションの内容を読んで、作品の背景にある歴史を理解し、要約する。	・パートごとに、内容を要約し、ペアで伝え合う。	・プレゼンテーションの内容を読んで、その内容を口頭で要約できる。	・授業時間内に、インタビューテストを行い、簡潔に述べられているかを評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・プレゼンテーションの内容を読んで、概要を把握できる。	・パートごとに読解し、英問に対して、正確に答えを選択する。	・パートごとに読解し、英問に対して、正確に答えを選択する。	・定期考査において、読解の理解を問うような質問を作成し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・発表・。説明に関連する語句の使い方を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・効果的に発表・説明に関連する語句の使い方を理解している。	・定期テストにおいて、知識が身についているかどうかを確認する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
十二訂版大学入試センター試験・分析と演習長文読解徹底リハーサル第3,4,5,6問 （34 時間）	大学入試センター試験第3,4,5,6問の演習	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「外国語表現の能力」			
		「外国語理解の能力」			
		・制限時間内に英語をすばやく読解し、概要、及び必要な情報を理解する。	・制限時間を設定し、読解する。	・制限時間内に正確に読めており、問に正確に解答できる。	・各授業終わりに、正答率を提出させ、評価する。 ・定期考査において、同じ構成の問題を出題し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・センター試験に頻出する単語や、文法を理解する。	・小テストを実施し、単語や文法の定着度を測る。	・センター試験の頻出単語や文法を、理解できる。	・小テストの点数、及び、定期考査においては、知識が身についているかを判断し、評価する。